センターだより

第168号　2012（平成24年）．6．20

第 168 号
新潟市立総合教育センター
新潟市立視聴覚センター

〒959-0492　新潟市西蒲区旗屋585番地1
TEL 0256-88-7444　FAX 0256-88-7517
http://www.netin.niigata.niigata.jp/

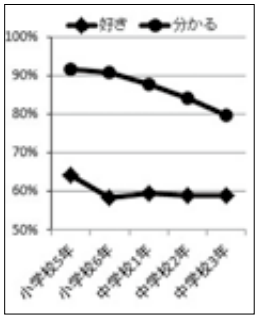
子どもの姿を見つめ，子どもの姿から学び，子どもの成長のための手立てを考える！

調査結果活用のススメ

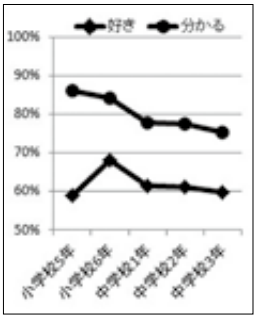
調査研究部主任　**伊　丹　和　哉**

平成23年度　新潟市生活・学習意識調査結果（各教科の勉強が好き，各教科の授業が分かる）から

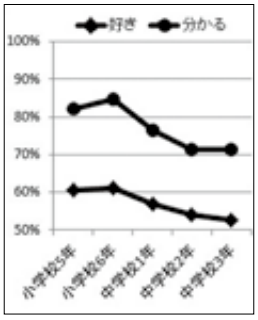
国　語



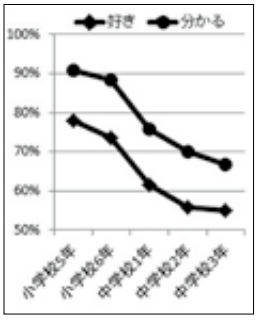
社　会



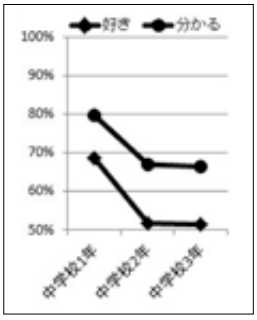
算数・数学



理　科



英　語



「１か月に読む本の数が増加している」「家庭学習時間が増加している」等，平成17年度から実施している生活・学習意識調査では，子どもたちの意識や生活の様子が改善されてきている様子が見えてきています。国語，社会，算数・数学，理科，英語の５教科の「勉強が好き」，「授業が分かる」という回答の割合は年を追って増えつつあります。しかし，上記のグラフのように，学年が上がるにつれて，その割合が減っているという傾向には変化が見られません。

そこで，現場の先生方はこの結果をどう見るのか，よりよい授業づくりをするためにはどうしたらよいのか御意見をいただきました。対象としたのは，学年が進むにつれ「好き」「分かる」の肯定的な回答が下がる小学校理科，中学校理科，中学校数学，中学校英語の４教科です。２月末に，教科顧問の校長先生，教科のマイスター，教科部長，中堅・若手の先生方から集まっていただき，右下がりの傾向が改善されない原因と改善策について話し合う座談会を行いました。座談会で話し合われた内容の概要について，次ページ以降に示しました。それぞれの提言を御覧いただき，自分の授業を見直す視点として御活用ください。

また，各校に配付済みの調査結果集計CDでは，調査をした学級ごとのデータも見ることができます。今後の調査結果と比較し，向上しているかどうか，また，自分の授業改善の成果が表れているかどうかを見取る資料として活用できます。小学校１年生から４年生もこの項目で調査を行うことで，経年比較が容易になります。

最後に，今年度から，10月末から11月初めに実施していた生活・意識調査の調査を，11月末から12月初めに変更しました。これにより，後期の学校評価に生活・学習意識調査の自校項目設定の部分を活用することができます。また，集計も教育センターで行うので，負担も軽減できます。ぜひ，御活用ください。

小学校理科　座談会の記録（抄）　※詳細は各校に配付した冊子「結果をどう見る？どう生かす？」を御覧ください。

結果をこう見る！

- 「理科が好き」は多い。「分かっている」 は，さらに 10p 程多い。
  ※相対的に「理科が好き」が少ない。
- 小５→小６→中１と，「好き」「分かる」 ともに下がっている。

原因をこう考える！

教師の姿勢に原因

実験の失敗は，考えを深めるいいきっかけとなるのだが，それを嫌う学級担任や，面倒な実験をカットする学級担任も多い。級外に任せっ放しになっているという実態もある。

提言します！

理科の授業を子どもにとって魅力あるものに変えよう！

① **条件整備として**
- 実験器具の準備や後片付けを含んだ学習のシステムを作る。
- 共同して，魅力ある教材を開発しよう。例：天体の学習で，地球と太陽，月の位置関係を捉えやすいモデル

② **授業の導入場面で**
- 子どもが「事象」や「もの」と出会う最初の場面を大切にする。そこで，子ども自らが課題をもつよう工夫する。

③ **授業の展開場面で**
- 仮説→検証→考察という流れとし，子どもが失敗やズレから学ぶ指導過程となるようにする。
- 体験的な学習を充実させる。

④ **授業の終末場面で**
- 演繹的思考（学んだことを活かして確かめる）で確認させる。
- 子どもを誉める。しっかりと評価する。

⑤ **学校内で**
- 理科担当教師が実験用具やアイディアを周囲に紹介し，「気軽に使っていいですよ」と促す。
- 教科書の実験は全て行うように促す。→魅力が伝わる。

⑥ **市小研で**　※今後検討していく。
- 理科への不安を出し合い，共有化する。
- 自然に親しみ，自然を好きになるような体験的な研修を行う。
- 理科授業を必修としたり，理科教育について学び合ったりするシステムをつくる。

出席者：渡辺　　徹（南中野山小学校校長　新潟市小学校教育研究協議会顧問【理科】）
　　山田　　淳（上所小学校教諭　新潟市マイスター【理科】）
　　村山　尚士（葛塚小学校教諭　新潟市小学校教育研究協議会部長【理科】）
　　竹内　義雄（青山小学校教諭）
　　田邊　玲奈（桃山小学校教諭）
司会者：伊丹　和哉（新潟市立総合教育センター指導主事）

※所属は平成24年２月現在です。敬称は省略しました。

中学校理科　座談会の記録（抄）　※詳細は各校に配付した冊子「結果をどう見る？どう生かす？」を御覧ください。

結果をこう見る！

- 小学校６年から中学校１年にかけて，「好き」「分かる」が大きく減少。中１から中２にかけても減少している。
- 中３は，「好き」じゃないけれど，「分かる」という状況である。

原因をこう考える！

実験結果を予想したり結果から推測したりすることは楽しいはずなのに，実験後の「考察」等で，論理的思考力・科学的思考力が求められるようになるために，苦手意識が生まれる。さらに，定期テストがあるために，詰め込み型・教え込み型の授業になりがちである。

提言します！

子どもが楽しいと感じて，分かる授業を創ろう！

①　子どもの実態・気持ちを，もっととらえよう。

②　子どもの興味・関心，疑問を大切にした，子どもが納得する授業を創ろう。

＜課題・目的意識＞

・わくわくする課題，身近なことに結び付けて，今までの常識とギャップを生む課題を提示する。

・日常的な話題（映画やニュース）にアンテナを張り，興味をもたせる。（理科教師の雑学を大事にする。）

・明確な目的意識を，教師側の押し付けでなく，子どものレベルでもたせる。何のための実験か，何を明らかにするための活動か，「ねらい」をはっきりもたせた学ぶ側にストーリーのある授業を展開していく。

＜課題解決型の授業＞

・生徒自らが課題に取り組み，仲間に説明し，試行錯誤しながら解決に向かうような授業を展開していく。

＜授業の終末を大事にした授業＞

・実験結果をふまえて，生徒自身が「分かる」「納得する」終末に。次時への余韻を大切にする。

③　理科教師間のコミュニケーションを図ろう。

・「簡単なネタ」を情報交換・共有できる場を作ろう。（市中教研のブロック研修で。有志のサークル研修で。）

・来年度の市中教研の授業研究は，座談会で出されたキーワードを受けて取り組む。また，指定校だけでなく，ブロック研修を充実させる。

・市中教研の「実践収録」に，「かかわり」「言語活動の充実」をふまえたものを収録し共有財産とする。

④　教師自ら学ぼうとする機会・仕組みを作ろう。

出席者：大岩　　登（小合中学校校長，新潟市中学校教育研究協議会顧問【理科】）
　　桑原　通泰（坂井輪中学校教諭，新潟市マイスター【理科】）
　　眞田　和徳（光晴中学校教諭，新潟市中学校教育研究協議会部長【理科】）
　　竹内　博美（横越中学校教諭）
司会者：緒方　　猛（新潟市立総合教育センター指導主事）

※所属は平成24年２月現在です。敬称は省略しました。

中学校数学　座談会の記録（抄）

※詳細は各校に配付した冊子「結果をどう見る？どう生かす？」を御覧ください。

結果をこう見る！

- 中２で「分かる」「好き」の割合がぐっと下がる。
- 「分かる」（70%）と「好き」（52%）にギャップがある。
- 小６→中１で「分かる」が大きく下がる。

原因をこう考える！

- 様々な学力，思考のレベルの生徒がいるのに教師主導型の一斉授業が展開されている。
- 演習時間，自力解決の時間が確保されてない。
- 主体的な問題解決学習，「数学的な表現のよさ」を実感させる授業になっていない。

提言します！

生徒が納得して分かる，「なるほど！分かった！」と思える授業を創ろう！

① 「個人内達成感」をもたせる授業へ

・「全員ができる課題」「少し難しい課題」「解けそうだ」「解いてみたい」という「適切な課題」を設定し，追求過程を大切にし，振り返りを確実に行う授業スタイルで，一人一人の生徒に「個人内達成感」をもたせよう。
・教材教具を工夫しよう。
・「Aが分かる」で授業を終わらず「not Aも分かる」と思えるように演習時間を確保し「分かる」から「好き」という過程をつくろう。
・個人差を３段階位にとらえ，子どもをしっかりと見取り，個に応じた課題，その子の思考レベルに適したハードルを準備しよう。
・どの子にも「分かった」「できた」という成功体験を与え，できたことを賞賛しよう。
・放課後学習教室やWebテストの個別指導で，全員が「分かる」ようにしよう。

② 教師主導型の授業から自力解決する授業へ

・他者とかかわる活動や場を設定しよう。生徒同士の「教え合い」や教師の生徒（個人）へのかかわりを大切にしよう。
・演習時間を確保しよう。個の思考時間と教え合いを両輪で行おう。

③ 教師同士・チームでの検討

・数学担当者というチームで，授業改善を考えていこう。（適切な課題設定，放課後学習教室，個人差に応じた方策等）
・つまずきの見られる単元の指導法をみんなで工夫しよう。

出席者：筒井　　稔（葛塚中学校校長　新潟市中学校教育研究協議会顧問【数学】）
　　山口　靖博（高志中等教育学校教諭，新潟市マイスター【数学】）
　　皆川　宏志（鳥屋野中学校教諭，新潟市中学校教育研究協議会部長【数学】）
　　渡部　陽平（山潟中学校教諭）
　　吉川　浩江（小針中学校教諭）
司会者：内山　一敏（新潟市立総合教育センター指導主事）

※所属は平成24年２月現在です。敬称は省略しました。

中学校英語　座談会の記録（抄）

※詳細は各校に配付した冊子「結果をどう見る？どう生かす？」を御覧ください。

結果をこう見る！

- 中１の秋で４割がマイナス評価である。
- 中１→中２で「好き」「分かる」が激減している。

原因をこう考える！

- 「成績がつかない」「音声が中心で書くことを重視しない」小学校外国語活動とのギャップが大きいのではないか？
- 音声と文字がうまく結び付かなくなるからではないか？
- 三単現のＳ，現在進行形，動名詞等の文法事項が複雑で整理できない。（Webテストで定着の不十分さを確認）

提言します！

表面的でない，心から楽しい授業を創ろう！

① **英語教師は危機感をもとう！**
- センターの調査結果を見て，担当するクラスの子どもの気持ちをまず知ろう。
- 小学校外国語活動の内容を知ろう。

② **教師自身が授業を楽しもう！**

③ **わかる授業を創ろう！**
- １時間１時間の目標を明確に提示し，振り返りもしっかりすることで，「○○ができるようになった」という気持ちをもたせていこう。
- １時間の中に必ず「書く時間」を取り入れよう。「聞く」「話す」から「書く」へ活動を統合しよう。
- ペア活動やグループ活動を取り入れることで，互いに教え合い，学び合う授業にしよう。

④ **子どもたち全員が活躍する場面を創ろう！**
- 子どもの能力に合わせた課題を創ろう。
- ドリル的な学習，グループワークで競わせるような学習など，様々な工夫を試みよう。

⑤ **ＡＬＴと協同して，コミュニケーションの喜びを感じられる授業にしよう！**

⑥ **教師自ら学ぼうとする仕組みを創ろう！**
- 新潟市中教研では，次のことに力を入れていきたいと考えています。

Ａ　新教科書の指導法をみんなで研修します。

Ｂ　統合タスク指導計画に盛り込み，４技能のバランスがとれた授業づくり研修を行います。

Ｃ　授業で使える表現集を作成します。

Ｄ　中教研と市小研で，できることから連携します。

出席者：永井　良二（山潟中学校校長　新潟市中学校教育研究協議会顧問【英語】）
　　小林　英男（寄居中学校教諭　新潟市マイスター【英語】）
　　斎藤　雅典（金津中学校教諭，新潟市中学校教育研究協議会部長【英語】）
　　笠原　禎華（上山中学校教諭）
　　赤塚　暁洋（白新中学校教諭）
司会者：本間　　昇（新潟市立総合教育センター指導主事）

※所属は平成24年２月現在です。敬称は省略しました。

新潟市生活・学習意識調査が，

より活用してもらえる調査になります！

いままで…

10月‥新潟市生活・学習調査
12月‥学校評価アンケート
12月末‥調査結果活用研修会
12月末までに学校評価の集計＆分析！
１月から２月に学校評価を生かした来年度の計画立案

ドタバタドタバタ‥

10月は新潟市，12月は学校評価のためのアンケート‥同じような項目で2回も。ハンサだなあ。まとめる手間もかかるし，子どももきっと嫌だろうなあ〜。

これから…

12月のアンケート1回で，自校で集計しなくても生徒の実態がわかる！さらに，新潟市の平均と比較できるので，自校の課題をより明確につかめるぞ！

12月‥新潟市生活・学習調査
12月末‥調査結果活用研修会で自校結果を分析！※集計はセンターが代行！
１月‥調査結果を生かした来年度の計画立案①
２月‥調査結果を生かした来年度の計画立案②

ゆったりと余裕をもった準備！

生活・学習調査には，こんな項目が‥（抜粋）

- 朝食を食べているか
- あいさつやお礼を進んで言うことができる
- 平日，携帯電話やパソコンで通話やメールなどを１日にどれくらいしているか
- 本を１か月にどれくらい読むか（教科書，漫画本など除く）
- 学校の授業以外では１日どれくらい勉強しているか
- 学習塾に通ったり，家庭教師に教えてもらったりしている
- 将来の夢やつきたい仕事がある
- 自分にはよいところがある
- 先生や友だちに認められて，嬉しいと感じることがよくある
- 国語の勉強が好きだ　※全ての教科あり
- 国語の授業はよく分かる　※全ての教科あり
- 授業で自分の考えを進んで発表している
- 授業でペアやグループで話し合う活動は楽しい

アンケート用紙は，年度当初からHPにアップされているから，7月の学校評価からそのまま使える！

私たちが知りたい子どもの実態を把握できる項目ばかり！
加えて，**学校独自の項目も20個まで**設定できる！

＊今年度も，調査結果データを１枚のＣＤにまとめ，各校に配付します。
様々な角度から子どもの姿を捉え，自分の指導のふり返りに役立ててください。